

## 上海市におけるロックダウン（都市封鎖）関連情報

上海市全域におけるロックダウンは依然として継続しており、解除の目途も立っておりません。感染状況により封控区，管控区，防范区のエリア分け（※）による部分的な解除政策も実質は外出制限と変わりなく、相変わらずほとんどの市民が自宅での隔離を余儀なくされています。

### 企業活動・市民生活について

ほとんどの企業で引き続き在宅勤務を実施。在宅勤務では対応できない業務（社判押印、給与支払い、取引先への发票（請求書）発行及び支払い等）もあることから、各企業・業種により出来ることは限られている状況下にあります。

食料不足も深刻化しており、政府から食料配給があるものの回数や質については区や居住区により差があり、先の見えない封鎖継続によるこれ以上の食料不足は重大な懸念事項となっています。

※感染者状況に応じた区分管理

#### ①封控区（封鎖区）

過去 7 日以内に陽性者が確認されたエリア

7 日間の封鎖管理+7 日間の社区健康観察

#### ②管控区（制御区）

過去 7 日以内に陽性者が確認されていないエリア

7 日間の社区健康観察

#### ③防范区（予防区）

過去 14 日以内に陽性者が確認されていないエリア 外出可（制限あり）

③については、ここに分類されても 1 人でも陽性者が確認されれば①へ逆戻り。

外出可ではあるものの実際は社区から出られないままとなります。



政府からの配給食料。まだ良いほうです

### 物流関連について

上海浦東空港、上海港は通常稼働しているものの、トラックやドレージ等の手配が困難な状況が続いています。

上海発輸出については代替（空）港として近隣の南通、杭州、寧波等をメインで使いながら対応しているがどこも混雑している状況です。

上海着輸入についてはやはり貨物の引き取りが困難な状況が継続中です。LCLについてはCFS 倉庫がクローズしている影響でコンテナの移動、デバンニングが停止中であり、ヤードには留め置かれているコンテナで溢れかえっている状況です。

在宅勤務、現場作業員不足の中で全体的に輸出入オペレーションはスローな状態が続いています。

#### ■ 上海発輸出：

上海発エアーについては貨物搬入がネックで手配が困難な状況に変わりはないですが、一部シッパー様側で常州などの集約倉庫へ持ち込み、通行証を持ったトラックで上海まで輸送。上海到着後、空港輸出倉庫は通常閉まっていますが、輸入倉庫の従業員が輸出倉庫を開けて臨時対応しているケースもあり、状況次第ではありますが手配されている場合もあります。

